

◎年間指導計画案 3学期制 第6学年

月	題材	小題材	時間	授業以外の場での学習	目標	主な活動(☆)と指導(●)	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	評価の観点			教材・教具		
								知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4月	わたしの生活時間(2時間)	①生活時間を調べよう	1	1	・生活時間を見直し、朝の生活の仕方、家族とのふれ合いの時間を工夫することができるようにする。	☆1日の生活時間を調べ、見直す。 ●何のために、どのように時間を使っているか見直し、工夫できるようにする。	P67の最近(平日と休日)の生活時間を表に記入し、自分の生活時間の使い方をふり返るとともに、Aさんの生活時間と自分の生活時間の使い方を比べ、気づいたことを見直したことをまとめる。	・生活時間の有効な使い方について問題を見だし、課題を設定している。	・生活時間の有効な使い方について理解している。	・生活時間の有効な使い方について考え、工夫している。 ・生活時間の有効な使い方について、実践を評価したり改善したりしている。	・朝の生活場面の図や写真・ビデオなど ・生活時間表 ・夜の生活時間の図や写真		
		②生活時間をくふうしよう	1			☆家族と共に過ごす時間や朝の生活時間を工夫する。 ●家庭環境に十分配慮しながらそれぞれの工夫を認めていく。	家族とのふれ合いの時間や共に過ごす時間、朝の生活時間で工夫したことをまとめる。						
5月	いためてつくり朝食のおかず(8時間)	①朝食を考えよう	3	1	・朝食に合う簡単なおかずを考え計画を立てることができる。 ・いためる調理がわかり、簡単なおかずを作ることができる。	☆朝食の役割を考える。 ●朝食をとることの大切さに気づくようにする。 ☆朝食のおかずづくりの計画を立て、必要な材料を準備する。 ●材料の買い方、選び方、保存の仕方を調べ、実習を生かすようにする。 ●材料に適したため方について分かるようにする。	P.69「話し合う」の写真を見て朝食の役割について考え、自分の朝食のよさと問題点をまとめる。	・食事の役割が分かり、日常の食事の大切さについて理解している。	・生活時間の有効な使い方について理解している。	・生活時間の有効な使い方について考え、工夫している。 ・生活時間の有効な使い方について、実践を評価したり改善したりしている。	・食品実物見本 ・食品の表示やマークの拡大図 ・フライパンの扱い図 ・料理例(図・カード・写真) ・調理器具・用具・食器 ・指導書資料編		
		②いためてみよう	5			☆(フライパンを安全に使用して)朝食のおかずを調理する。 ●油でいためる調理のよさや注意点がわかり、フライパンのあとしまつができるようにする。	感染症対策のために実習が困難な場合には、立てた計画に沿って家庭で実行し、材料の準備の仕方や切り方、火加減、味付け、盛り付け、手順についてふり返り、実践記録表にまとめる。(切った野菜や出来上りを写真等で記録する。)					調理に必要な用具の安全な取扱いや、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、後片付けについて理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した切り方やいため方について理解しているとともに、適切にできる。 ・料理や食品を組み合わせてとる必要があることを理解している。	
7月	クリーン大作戦(5時間)	①そうじのしかたを見直そう	2	1	・住まい方に関心をもち、工夫してそうじができる。	☆どんなところにどんなよごれがあるか調べる。 ●生活の仕方や場所により、ほこりや油汚れ、カビやダニなどよごれの種類やよごれ方がちがうことに気づくようにする。 ●住まいのそうじが必要であることが分かるようにする。	p.75の写真を参考に、家庭の玄関や部屋、水回り、ごみ回りなどのよごれの種類やよごれる原因、そうじの仕方(今までの掃除の仕方・さらに工夫できること)を調べる。	・住まいの清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。	・清掃の仕方について問題を見だして課題を設定している。 ・清掃の仕方について実践に向けた計画を考え、工夫している。	・清掃の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・清掃の仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・清掃の仕方について工夫し、実践しようとしている。	・観察カード ・虫眼鏡・デジタルカメラ ・セロハンテープ ・計画カード ・そうじの仕方・工夫の掲示資料 ・そうじ用具 ・洗剤		
		②そうじのしかたをくふうしよう	3			☆身近な場所のよごれに合ったそうじの仕方を考え、発表する。 ●そうじの方法や手順について調べたり、工夫について話し合うようにする。	立てた計画に沿って実行し、そうじの仕方について手順や方法、工夫したことなどをふり返り、実践記録表にまとめる。						
4月	暑い季節を快適に(7時間)	①すずしい住まい方をくふうしよう	2	1	・すずしい住まい方や着方に関心をもち、快適に過ごすための工夫ができる。 ・すずしく住まう方法を工夫できる。 ・すずしい衣服の着方や手入れに関心をもち、快適に過ごすための工夫ができる。 ・洗たくの必要性がわかり、洗たくを工夫して行うことができる。	☆すずしい住まい方や着方について話し合う。 ●教科書や写真を提示しながら、すずしい住まい方や着方に関心をもち、快適に過ごすための工夫ができる。 ☆すずしい住まい方を調べ、自分の家でできることを話し合う。 ●すずしくする住まい方の工夫や冷房器具の上手な利用の仕方の例などを調べ、生活に生かしていくようにする。 ☆音の感じ方についても扱い、快適に感じるものと、不快に感じるものがあることや季節の音を楽しむ日本の生活文化や生活音の周りへの配慮など、音を通して住まい方を考えられるようにする。	P78、P79の写真やイラストを参考に、暑い季節を快適に過ごすための衣食住の工夫を調べる。	・季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解している。 ・季節の変化に合わせた住まい方について問題を見だし、課題を設定している。 ・季節の変化に合わせた住まい方について考え、工夫している。 ・季節の変化に合わせた住まい方についての課題解決に向けた一連の活動について分かりやすく表現している。	・季節の変化に合わせた住まい方について問題を見だし、課題を設定している。 ・季節の変化に合わせた住まい方について考え、工夫している。 ・季節の変化に合わせた住まい方についての課題解決に向けた一連の活動について分かりやすく表現している。	・季節の変化に合わせた住まい方について問題を見だし、課題を設定している。 ・季節の変化に合わせた住まい方について考え、工夫している。 ・季節の変化に合わせた住まい方についての課題解決に向けた一連の活動について分かりやすく表現している。	・すずしく過ごすための工夫の具体物や写真・図(風鈴、すだれ、着方の例等) ・地域の気候・風土に合わせた住まい方の工夫の図や写真 ・(通風・家模型) ・洗たく用具(はかり・計量カップ・たらいはけ・洗剤・物干し・ロープ等) ・洗たく機		
		②すずしい着方をくふうしよう	1			☆暑い季節を気持ちよく、健康に過ごすための衣服の着方を考える。 ●寒い季節の着方と比較したり、衣服の中の風通しをよくする方法について話し合ったりする。 ☆衣服の汚れの種類と清潔な整え方を調べる。 ●手入れの必要性や手入れの手順についてわかるようにする。	・季節に応じた日常の快適な着方について理解している。 ・日常の手入れが必要であることや洗濯の仕方を理解しているとともに、適切にできる。					・日常の快適な着方や手入れの仕方について問題を見だし、課題を設定している。 ・日常の快適な着方や手入れの仕方について考え、工夫している。	・衣服の着用と手入れについて課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・衣服の着用と手入れについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・衣服の着用と手入れについて工夫し、実践しようとしている。
		③洗たくをしてみよう	4			☆洗たくの仕方を調べて、洗たくをする。 ●取り扱い絵表示を見て、衣服のよごれや種類に応じて、洗たくをしていくようにする。	・日常の快適な着方や手入れの仕方について実践を評価したり改善したりしている。						
チャレンジコーナー					・学習したことを家庭生活に生かす。	休日や夏休みなどに家庭実践をする。					・実践カード		
9月 10月	楽しくソーイング(10時間)	①つくりたい物を考えよう	1	1	・布を用いた生活に役立つ物に関心をもち、目的に応じて工夫してつくることができる。 ・製作の楽しさや活用する喜びを味わうことができる。	☆布を用いた、生活が楽しくなる袋ものを考え、計画を立てる。 ☆目的にあった形や物を出し入れしやすいゆとりを考えて、できあがりの大きさを決める。 ●身近にある布でつくられた物を見つめ、生活に役立つ物を考えるようにする。 ●試しに紙などで作ってみて、形や大きさを決めるとよい。	家庭にある袋物を調べ、どんな袋をどのように使っているか(使う目的)、形や大きさ、布の種類、つくり方について気づいたこと、知りたいことやできるようにしたいことをまとめる。	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について問題を見だし、課題を設定している。	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見だし、課題を設定している。	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見だし、課題を設定している。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見だし、課題を設定している。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見だし、課題を設定している。	・作品見本 ・段階標本 ・布見本・材料見本 ・製作計画表 ・裁縫用具 ・ミシン ・活用例の写真		
		②計画を立ててつくりよう	8			☆製作計画を確認し、工夫して製作する。 ●作品見本や段階標本を参考に、製作することができるようにする。 ●時間ごとに各自のめあてと進行状況を把握して、適切に支援していくようにする。	P90～P93を参考に、作りたい袋ものを調べ、材料やつくり方の順序、できあがり図、工夫するところを製作計画表にまとめ、材料の準備をする。					製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ・手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに適切にできる。	
		③楽しく使おう	1			☆製作をふり返り、工夫したことや使ってみての感想などを話し合う。 ●実際に使ってみて、よかった点や役立つことについてもまとめるようにする。	実際に使ってみて、よかった点や役立つこと、改善することについてまとめる。					・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	

◎年間指導計画案 3学期制 第6学年

月	題材	小題材	時間	授業以外の場での学習	目標	主な活動(☆)と指導(●)	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	評価の観点			教材・教具
								知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1月 12月	6 くふうしよう おいしい食事 (11時間)	①バランスのよいこんだてを考えよう	5	0.5	・栄養のバランスを考え、1食分の献立を立てることができる。 ・身近な食品を用いて調理計画を立て、簡単なおかずを作ることができる。 ・日常の食事の大切さに気づき、楽しく食事をしようとする。	☆(ご飯とみそしるを中心にした)1食分の献立を考える。 ●献立の考え方を参考に栄養のバランスやいろいろ、味つけを考えて立てるようにする。 ☆立てた献立の栄養のバランスを確かめる。 ●3つの食品のグループに分けて、献立を見直し、食品を加えたり、別のおかずを助言したりする。	夕食調べから自分の夕食の献立をふり返り、気付いたことや見直したいことをまとめる。	・献立を構成する要素が分かり、1食分の献立 作成の方法について理解している。	・1食分の献立の栄養のバランスについて問題を見いだして課題を設定している。	・1食分の献立の工夫や調理の仕方、食事の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・1食分の献立の工夫や調理の仕方、食事の仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・1食分の献立の工夫や調理の仕方、食事の仕方、食事の仕方について工夫し、実践しようとしている。	・食品カード ・給食の献立表 ・食事の計画表 ・食品の分類表 ・料理カード ・デジタル教科書 ・調理実習計画表 ・調理のレシピ ・食品と分量のカード ・食事風景の写真
		②身近な食品でおかずをつくらう	5	2	☆身近な食品を組み合わせて、計画を立て、おかずを作る。 ●(じゃがいもを例に)同じ食品でも調理の仕方によっていろいろな料理ができることに気づくようにする。 ●調理の時間配分や手順を工夫し、計画を立て、調理に取り組むようにする。	☆感染症対策のために実習が困難な場合には、立てた計画に沿って家庭で実行し、調理の安全や時間配分、切り方、火加減、味付け、盛り付け、手順についてふり返り、実践記録表にまとめる。(包丁でむいた野菜や出来上がり写真を写真等で記録する。)	・目的に応じた調理や調理の手順を理解し適切にできる。 ・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 ・材料に適したゆで方、いため方を理解しているとともに適切にできる。 ・材料の選び方について理解している。	・おいしく食べるための調理計画及び調理の仕方について考え、工夫している。 ・おいしく食べるための調理計画及び調理の仕方について実践を評価したり、改善したりしている。 ・1食分の献立やおいしく食べるための調理計画及び調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。			
		③楽しく、おいしい食事をくふうしよう	1		☆家族と楽しく食事ができるよう考える。 ●食事のはたらきやマナーなどを知らせ、家庭で生かすようにする。		・食事の役割が分かり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解している。	・楽しく食べるための食事の仕方について考え、工夫している。 ・楽しく食べるための食事の仕方について実践を評価したり、改善したりしている。 ・楽しく食べるための食事の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。			
1月	生活の課題と実践 (設定・計画・評価…2時間)	課題・計画	1		・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践し、評価・改善するなどを身に付けている。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。	☆家庭生活や家庭科学習をふり返り、話し合いや発表を通して課題を見つける。 ☆課題の実践計画表を作成する。 ☆作成した計画表をまわりの友だちや家族と共有したり、相談したりして計画を改善して取り組む。	家庭や地域などで実践を行い、課題を解決する力を養うことから「知識・技能」の評価は行わない。	・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりの中から問題を見いだして課題を設定している。 ・家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて、よりよい生活にするための解決方法を考え、計画を工夫している。 ・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて実践した結果を評価したり改善したりしている。 ・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく説明したり、改善したりしている。	・家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・さらによりよい生活するために、家庭の仕事又は、地域の人々との関わりに関する新たな課題を見つけ、家庭や地域での次の実践に取り組もうとしている。	・実践カード	
		発表	1		☆家庭や地域で実践した結果を発表する。 ☆まわりの人の取り組みの発表を聞いて、気づいたことや改善点についてアドバイスする。	☆実践する	休日や冬休みに実践をする。				
2月 3月	7 共に生きる生活 (9時間)	①わたしたちの生活と地域	4	1	・自分や身近な人びとの生活や環境とのかかわりに気づき、快適な生活の仕方を工夫することができる。 ・身近な人びとのかかわりについて考え、気持ちの伝え方が工夫できる。 ・地域で快適に生活するための工夫について考え、実践しようとする態度を養う。	☆身近な地域の環境について、気がついたことを話し合う。 ●気づいたことを発表しながら、自分の生活の仕方と環境とのかかわりを見つめ直していくようにする。	p.105を参考に、環境に配慮した生活のしかたについてふり返り、気づいたことをまとめる。 地域で共に暮らす人々や地域のルールやマナー、地域の活動や行事などを調べる。	・自分の生活と身近な環境との関わりについて理解している。 ・家庭生活は人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。	・地域の人々とのよりよい関わりについて、問題を見いだして課題を設定している。 ・環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・環境に配慮した生活について考え、工夫している。	・環境に配慮した生活について課題の解決に向けて主体的に実践しようとしている。 ・環境に配慮した生活について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・環境に配慮した生活について工夫し、実践しようとしている。	・計画カード ・フラッシュカード ・地域の環境図 ・指導書資料編
		②わたしの気持ちを伝えよう	4	1	☆幼児や高齢の人びとなど年齢の異なる人たちとのかかわりについてよく考え、気持ちを伝える方法を考え、実践する。 ●これまでの学習を生かして、各自が考えた方法で実践していくようにする。	☆幼児や高齢の人びとなど年齢の異なる人たちとのかかわり経験振り返り、地域の人びととどのように関わっていくとよいか考える。 ☆身近な人びとへ感謝などの気持ちを伝える方法を考え、実践する。	自分の気持ちを伝える方法を考え、自分の計画を立てる。		・地域の人々とのよりよい関わりについて、実践に向けた計画を考え、工夫している。 ・地域の人々とのよりよい関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。	・地域の人々とのよりよい関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・地域の人々とのよりよい関わりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・地域の人々とのよりよい関わりについて工夫し、実践しようとしている。	
		③考えよう これからの生活	1		☆人びとや環境などのかかわりで、自分にできることを考え、よりよい生活をしよう、実践する。 ●家族や地域の一員として人や環境に配慮した生活をめざせるよう支援する。	☆人びとや環境などのかかわりで、自分にできることを考え、よりよい生活をしよう、実践する。 ●家族や地域の一員として人や環境に配慮した生活をめざせるよう支援する。	・自分の生活と環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。	・環境に配慮した生活について、実践を評価したり、改善したりしている。			
成長したわたしたち 中学生に向かって (1時間)			1	・2年間の学習をふり返り、自分の成長を自覚し、よりよい生活の仕方を継続しようとするができるようにする。	☆2年間の学習をふり返り、生活の中でできるようになったことと、工夫していること、また、これらを生かして今後どうしていきたいかなどを発表する。 ●成長を実感し、さらによりよい生活をめざしていくよう助言する。	・2年間の家庭科学習で学んだことの活用の仕方を理解している。				・ふり返りカード ・指導書資料編	

生活の課題と実践について 課題の設定・計画・評価を2時間で想定し、実践は時間外にしている。この案では実践に冬期休暇を活用する計画をしているが、指導学年・時期は限定されていない。